

3.1.1.3 メディアインタラクショングループ

課題名 デジタルコンテンツの研究

所属職員名 中山治人、門林理恵子、山崎達也、熊本忠彦、メリ・ヌリ・シラジ、宮森 恒、*灘本明代、*河合由起子、*ミン・ミン・セイン

活動概要

ネットワーク上の多種多様なデータリソースを、いつでもどこでも個人適応的かつ動的に利用できる環境を構築する技術基盤の実現を目指し、検索や個人適応のためのデータやユーザのモデル化などを行った。

活動成果

(1) コンテンツ理解に基づく情報検索・要約技術に関する研究

映像と音響を協調利用する内容検索のための動作識別法及び内容に関連したスコア値による要約モデルを提案し、テニス映像を用いた応用システムを実装した(図1参照)。

(2) メディア品質制御技術に関する研究

CGによるキャラクタを介して音声や画像メディアが提示される場合、キャラクタ動作がユーザの知覚するサービス品質に与える影響に関するデータを、延べ20名の被験者実験により収集した。

(3) デジタルアーカイブの構築技術に関する研究

3次元計測技術を用いて、詳細な情報を持つ3次元デジタルアーカイブを効率良く作成する技術の開発に取り組んだ。遺跡の3次元計測を行い、高精度の3次元モデルを作成した(図2参照)。

(4) サービスの個人適応化技術に関する研究

楽曲検索時における利用者の要求をモデル化し、この要求モデルから言語知識を用いて印象尺度(入力可能な印象形容語の対)を設計する手法を提案した。この印象尺度をベースにした楽曲作品データベース構築システム及び印象に基づく楽曲検索システムを開発した。



図1 コンテンツ理解による動画像検索システムでの検索結果実行画面



図2 3次元計測技術を用いて作成した遺跡の3次元モデル